

令和元年度第2回「生徒による授業アンケート」(2 学年)の集計結果等について (報告)

本校の教育活動につきましては、日頃ご理解、ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、このたび「生徒による授業アンケート」を実施し、貴重なデータを得ることができました。その集計結果を受け、各教科で分析するとともに授業改善への手立てを検討し、研究授業を実施するなど授業の質を今まで以上に高める取組を進めています。

については、各教科における集計分析結果及び授業改善への取組の概要をご覧いただき、ご質問、ご意見等、お気づきの点がありましたら、ご連絡くださるようお願いいたします。

〔問合せ先 副校長 (046)241-8001〕

1 アンケートの実施日

令和元年12月20日 (金)

2 各教科の集計分析・授業改善 (概略)

国語	集計分析	1 学期で肯定的回答が少なかった「予習・復習をしている」の項目は、現代文B・古典A・古典Bそれぞれで1 学期よりも肯定的回答が増加した。全体としては増減はあるものの、概ね1 学期と同じような傾向にあると言える。
	授業改善	「予習・復習をしている」の項目で肯定的回答が増えているので、授業における有効な取り組みは続けていきたい。全体としては1 学期と同じような傾向ではあるが、否定的回答が増えている項目もあるため、常に授業の改善点を考え、より魅力的な授業を実施できるよう努めていく。
地歴・公民	集計分析	全体的に1 学期と同じ傾向にあり、授業のあり方については、「取り組みやすい授業」、「理解度に合わせた授業」、「学習の見通しと振り返りの機会」の項目で肯定的回答が多いが、「他者の考えを知る機会」、「考えをまとめたりする場面」の項目では否定的回答が少し多かった。学習の状況については、「わかる努力をしている」、「意欲的に取り組んでいる」の項目で肯定的回答が1 学期より増えたが、「予習復習をしている」、「身についたことを実感できた」の項目では1 学期に続き否定的回答が少し多かった。
	授業改善	引き続き、生徒が授業内容をより理解できるよう工夫しつつ、生徒が自分の考えをまとめたり、その内容について他者と話し合う機会を増やしていく。また、課題を課すなどして、予習復習の習慣が身につくようにしていく。
数学	集計分析	数学Ⅱでは、多くの項目で肯定的回答の割合が1 学期に比べてかなり増加していることは喜ばしいことである。特に、文系クラスの回答が劇的に変化しており、生徒の要望に答えられていると考えられるので、これが継続できれば良い。 数学Bでは、1 学期の調査結果に基づき授業改善点としていた「理解度に合わせた授業」が、今回の調査では肯定的回答が増加した。また、他の項目でも肯定的回答が増え、主体的に学ぶ姿勢が伺え、深い学びまで繋がられた生徒の数が多かった。
	授業改善	生徒が意欲的に授業に取り組むことができるよう、興味、関心を深められる授業を行う。生徒の理解度に合った授業展開や発問の仕方を一層工夫すること等により、生徒が毎時間、充実感・達成感を味わえるよう授業改善を図りたい。また、なるべく身近な事象に数列の問題を当てはめ、興味関心を惹きだす導入をしたことによって、「理解度に合わせた授業」の肯定的回答が増加したように思う。単元の最初だけでなく、単元の途中や、終盤にもそういった授業展開ができればと思う。また、予習・復習の必要性を感じた生徒が増加したことも1 学期の課題であったので、改善を図れた。

令和元年度第2回「生徒による授業アンケート」（2学年）の集計結果等について（報告）

理科	集計分析	<p>スポーツ科学科と文系の化学基礎では、1学期と比べて全体的に否定的回答が増加しているが、予習復習に関しては肯定的回答が増加している。原因として、1学期は暗記で乗り切れる領域が多かったが、2学期は自身で思考・判断する領域が多くなったからだと考えられる。理系の化学基礎と化学基礎研究では、1学期と比べて、全体的に、否定的回答が増加している。特に、深い学びに関係する「考えをまとめたりする場面」や「新たな課題に取り組む」の否定的回答が増加している。</p> <p>物理基礎研究では、1学期に比べ「予習・復習をしている」の項目で肯定的回答が増えた。授業のありかたについては、概ね1学期と同様の結果であった。</p> <p>生物基礎研究では、1学期に比べて「取り組みやすい授業」や「学習の見通しと振り返りの機会」の項目で肯定的回答が増えたが、学習の状況に関する各項目は否定的回答が増えた。</p>
	授業改善	<p>スポーツ科学と文系の化学基礎では、思考・判断の仕方を身につけるために、類似問題を何回も行うことや、定着の確認として小テストを行うなどして、生徒個人の課題に対応した指導をする。</p> <p>化学基礎研究では、発展的な内容を扱い、「深い学び」につなげていく必要がある。</p> <p>物理基礎研究では、引き続き予習・復習の定着を図るとともに、取り組みやすい授業となるように教材の工夫を行っていききたい。</p> <p>生物基礎研究では、引き続き「学習の状況について」の各項目の内容が改善されるように努力し、さらに「取り組みやすい授業」等の内容を充実させるように工夫したい。</p>
保健体育	集計分析	<p>授業のあり方、学習の状況に関して、1学期と同様に多くの科目で80～90%の肯定的回答を得ている。生徒自身の取り組み状況では、1学期に続き「予習・復習をしている」の項目に関しては、否定的回答が40%近くになっている。全体的には、積極的に授業に取り組む姿勢が身についてきているが、予習・復習をできる環境を作っていききたい。</p>
	授業改善	<p>生徒の習熟度に応じた課題や、場の工夫を心がけ、生徒がより積極的に学べる授業を実施する。生徒同士で教え合い、学び合いが出来るよう声かけや、学習カードの利用など工夫をする。予習・復習に取り組む生徒が1学期と比較しても増えていないため、授業の中で生徒が身近に考えられるような題材を取り入れ、家庭学習をする際にも自主的に取り組めるような課題を提示し、実生活の改善を図る。</p>
英語	集計分析	<p>1学期と比較し「他者の考えを知る機会」の否定的回答が増えている科目があるが、ほとんどの項目で概ね70%～80%の生徒から肯定的回答を得ている。コミュニケーション英語Ⅱの習熟度別の授業展開により、理解力や意欲を高めていると考えられる。1学期と同様に「予習・復習をしている」で否定的回答が多いことから、家庭での学習習慣が確立できていないことが分かる。</p>
	授業改善	<p>授業内でディスカッション等の活動を行い、他の生徒の意見を知る機会を増やしていききたい。また、予習・復習を定着させるため授業プリントや課題を工夫し、家庭での予習や復習ができるよう指導する。英語に関する興味を深め、自ら主体的に英語を学習をする意欲を育成できるような授業改善を図りたい。</p>
家庭	集計分析	<p>1学期と比較して全体的に否定的回答が増加している。スポーツ科学科の”家庭基礎”では、被服実習を2学期に実施したため、裁縫に対して苦手意識のある生徒が取り組みにくい授業内容だったと考える。</p> <p>普通科の”子どもの発達と保育”では、特に「学んだことを関連付けて理解できた」の否定的回答が多かった。</p>
	授業改善	<p>スポーツ科学科の”家庭基礎”は、生徒が被服実習に安全かつ積極的に参加できる授業内容と指導方法の工夫に努めたい。</p> <p>普通科の”子どもの発達と保育”は、本時はどのような内容を扱い、何を理解してほしいのか目的を明確にし、生徒が学んだことを関連付けられる授業を展開していききたい。</p>
芸術	集計分析	<p>音楽・書道ともに、授業のありかたの各項目で肯定的回答が80%近くを占めている。一方、学習の状況の各項目では否定的回答が1学期と比較して少し多くなっているが、「予習・復習をしている」については肯定的回答が増加している。</p>
	授業改善	<p>生徒自身がさらに取り組みやすい内容にしていくために、授業内容を明確化し、様々なアプローチや指導等をできるように改善していききたい。また、生徒の目標に対する達成感を実感させてあげることを大切にしたい。また、生徒が自分の考えを深められるよう助言・アドバイス等を行ったり、そのための時間を十分に確保していききたい。</p>